

中緯度地磁気擾乱指数 ASY/SYM の意味およびその特性 (3)

Meaning of the ASY/SYM Indices and Their Characteristics (3)

家森 俊彦[1], 中野 慎也[2], 山下 哲[2]

Toshihiko Iyemori[1], Shin'ya Nakano[2], Satoru Yamashita[3]

[1] 京大・理・地磁気, [2] 京都大・理・地球物理

[1] WDC-C2 for Geomag., Kyoto Univ., [2] Dept. of Geophysics, Kyoto Univ., [3] Dept. of Geophysics, Kyouto Univ.

中緯度 6 ヶ所の地磁気観測所データを用いて算出している中緯度地磁気擾乱指数 ASY に寄与する主要な電流は、昼間側の極域電離層に流れ込み、オーロラジェット電流を經由して夜側では磁気圏に流出する net Birkeland currents であること、季節および UT 依存性は、Russell-McPherron 効果を比較的忠実に反映していることなどを前 2 回で報告した。今回は、その続きとして、周波数領域での特性およびサブストームとの関連について調べた結果を報告する。